

# 東日本大震災 災害救援レポート 10



矢作町片地家仮設住宅で



矢作小学校では、クリスマスの曲をバンドで演奏し、手袋などを贈った（陸前高田市）



気仙町二日市仮設住宅で



11 個所の仮設住宅、公民館、自治会館、雇用促進住宅、そして小学校などをクリスマスの恵みを携えて訪問した

陸前高田市



永沢仮設住宅でクリスマス集会和給食をおこなう



大船渡市



糠塚沢公民館で



開店した「おふなと夢商店街」には、ウッドデッキやベンチ、照明入り看板、植栽を提供した



雷神自治会館で



「すずらんとかたつむり」には、軽トラックを贈呈



「すずらんとかたつむり」で



←建設中の南三陸町の仮設店舗街

被災地では、震災後まもなく十カ月になるが、本格的な冬の寒さの中、越冬対策が進められている。救世軍も、昨年十二月中旬に、宮城県からの要請で、名取市、多賀城市、岩沼市、大崎市など十一の市・町の支援の行き届いていない民間借り上げ住宅に居住している被災世帯に対して、暖房器具（約六千台）を香港からの資金で提供した。本営にも、お礼の電話が寄せられている。

また、クリスマスの前に、いくつかの救援チームが被災地で給食活動のほかに、集会をし、クリスマスの祝福を届けた。岩手県では、十二月六日～七日に、北海道からの救援チームが、陸前高田市の十一個所の仮設住宅、公民館や自治会館、雇用促進住宅を訪問し、調味料セット（合計399）や子ども用クリスマスブーツ（200）などを提供、矢作小学校では、児童（77人）に手袋などを贈った。そして、各場所でもバンド演奏や合唱も聞いていただいた。また、十七日には、東京と関東東北からの合同チームが、障がい者支援施設と、大船渡市の仮設住宅地で、クリスマス集会をもち、また給食（スパゲッティ300食）活動もした。

海外からは、引き続き多額の支援資金提供が続いており、大小様々な支援に用いられている。一月中にはカナダからの申し出で、陸前高田市の保育所の子どもたちへ、タオルケット（120枚）が贈られる。また、先障がい者支援施設には、作業用の軽トラックが提供されたが、これはチェコから送られた資金による。十二月初めにオープンした大船渡市の仮設店舗街に引き続き、二月には南三陸町で、三月には女川町で開設予定の仮設店舗街建設に対しても、救世軍は大きな支援をしていく。これらは、アメリカからの支援によっておこなわれる。

新しい年、救世軍は、引き続き被災地の復興と人々に寄りそった支援を続けていく。

被災地では、震災後まもなく十カ月になるが、本格的な冬の寒さの中、越冬対策が進められている。救世軍も、昨年十二月中旬に、宮城県からの要請で、名取市、多賀城市、岩沼市、大崎市など十一の市・町の支援の行き届いていない民間借り上げ住宅に居住している被災世帯に対して、暖房器具（約六千台）を香港からの資金で提供した。本営にも、お礼の電話が寄せられている。

また、クリスマスの前に、いくつかの救援チームが被災地で給食活動のほかに、集会をし、クリスマスの祝福を届けた。岩手県では、十二月六日～七日に、北海道からの救援チームが、陸前高田市の十一個所の仮設住宅、公民館や自治会館、雇用促進住宅を訪問し、調味料セット（合計399）や子ども用クリスマスブーツ（200）などを提供、矢作小学校では、児童（77人）に手袋などを贈った。そして、各場所でもバンド演奏や合唱も聞いていただいた。また、十七日には、東京と関東東北からの合同チームが、障がい者支援施設と、大船渡市の仮設住宅地で、クリスマス集会をもち、また給食（スパゲッティ300食）活動もした。

海外からは、引き続き多額の支援資金提供が続いており、大小様々な支援に用いられている。一月中にはカナダからの申し出で、陸前高田市の保育所の子どもたちへ、タオルケット（120枚）が贈られる。また、先障がい者支援施設には、作業用の軽トラックが提供されたが、これはチェコから送られた資金による。十二月初めにオープンした大船渡市の仮設店舗街に引き続き、二月には南三陸町で、三月には女川町で開設予定の仮設店舗街建設に対しても、救世軍は大きな支援をしていく。これらは、アメリカからの支援によっておこなわれる。

新しい年、救世軍は、引き続き被災地の復興と人々に寄りそった支援を続けていく。

皆様のご支援、ご協力を  
心から感謝申し上げます。

お問い合わせ、ご献金は……  
救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17  
<http://www.salvationarmy.or.jp> TEL 03 - 3237 - 0881